

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	地域コミュニティ形成支援事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	商業流通
				課	評価責任者(課長名)
					辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	まちの魅力向上につながる商業機能の充実	有
	2	事業開始年度	平成 13 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	地域商店街活性化法等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	地域社会が本来持っていたコミュニティ機能が低下する中で、商店街がコミュニティ機能の中心的役割を担うことが求められていることから、商店街が行う少子高齢化対応や安全・安心の推進など、地域の課題解決に向けて取り組む先進的ソフト事業を支援する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内商店街・小売市場及び地域住民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	商店街等の地域コミュニティの核としての機能を強化し、地域課題の解決に資する商業活性化事業を推進することで、買物利便性の向上など生活環境の充実を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	◎市内商店街・小売市場等が主体的に実施する、地域コミュニティの機能強化に資する取組みの支援を行う。 ◆地域コミュニティ形成促進事業 ①賑わい創出などソフト事業(商店街等が自ら創意工夫し、販売・集客力を向上させる取組みを支援) ②空き店舗活用事業(商店街等が空き店舗で実施する地域課題の解決に向けた取組みを支援) ③新規テナント誘致事業(商店街等が主体的に魅力テナントを誘致する取組みを支援) ④中心市街地魅力テナント創出事業(まちづくり会社が空き店舗を活用して実施するチャレンジショップ事業を支援) ◆商業共同施設機能向上支援事業(防犯機能を果たしている街路灯等の電気料金の一部を支援) ◆買物弱者対策支援事業(地域住民の買物利便性の向上に資する取組みを支援)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		市内商店街等				

Ⅲ. 投入量

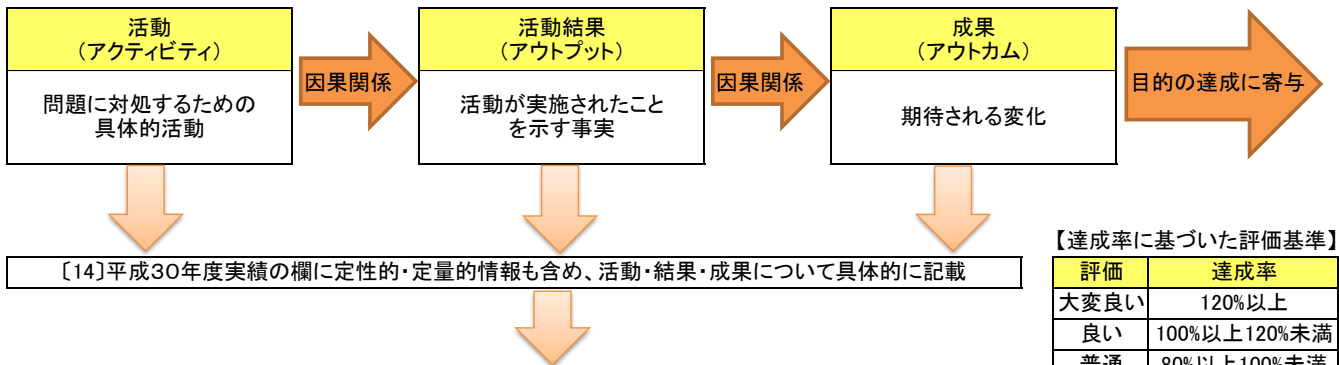
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	51,972	55,411	55,430	61,812	
11 主な事業費内訳	商店街・大型店連携支援事業	千円	14,000	14,000	14,000	14,000
	地域コミュニティ形成促進事業	千円	11,934	16,344	8,717	13,000
	商業共同施設機能向上事業	千円	4,997	4,997	13,618	14,000
	買物弱者対策支援事業	千円	1,980	1,000	0	1,000
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他( )	千円				
一般財源	千円	51,972	55,411	55,430	61,812	
12 人件費 (b)	千円	18,040	18,040	18,368	18,144	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	70,012	73,451	73,798	79,956	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域コミュニティ形成支援事業	シート番号	15-11
-------	----------------	-------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>商店街等が行う、賑わい創出のためのイベント支援や空き家対策事業を支援する地域コミュニティ形成促進事業については14件、街路灯などの管理等を支援する商業共同施設機能向上事業については45件実施した。 3年ごとに実施する商圈実態調査によると、商店街等への週2回以上来街する割合は、H30は58.9%であった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			件	目標値	13	15	17	19
				実績値	13	15	14	
				達成率	100%	100%	82%	
				評価	良い	良い	普通	
			算出方法・設定根拠など					
			平成26年度の実績値(9件)を基準に、補助事案件数が令和2年度に店舗数が20店舗以上ある商店街の団体数21件を達成することを目標とする。(2件増/年)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			%	目標値	65.3	66.5	67.6	68.8
		実績値				58.9		
		達成率				87%		
		評価				普通		
		算出方法・設定根拠など						
		堺市産業振興アクションプランの達成目標に基づき、商店街等への来街頻度の増加を図る。(H21年度実績:57%⇒R2年度目標70%・・・約1.02%/年増)						

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>本事業は、地域コミュニティの担い手として商店街が実施する空き店舗を活用したテナント誘致や地域イベント、街路灯等の維持管理を支援している。現在、地域の商店街は、売り上げの減少に伴う資金難、商店街組織の弱体化などにより、商店街数が年々減少しており、課題となっている。これからも地域の商店街が継続していくため、意欲ある事業者等の自主的な取組を促進する。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。